

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり16.08人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も継続して報告されています。(次ページ参照)

2 咽頭結膜熱

定点当たり2.52人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。この報告数は、1999年の感染症法施行以降で最多となります。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

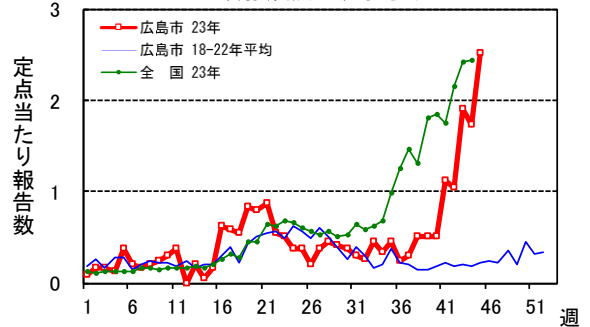
3 つつが虫病

3件の報告があり、今年の累計は4件となりました。例年、11～12月の報告が多くなっており、注意が必要です。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用し、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、帰宅後はすぐに入浴して身体をよく洗い、衣服も洗濯しましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.14人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
インフル	インフルエンザ	579	16.08	0.45	↗	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.31		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	41	1.14		↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04		↘	↘	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.24		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		↔	↔	前週と比較しておおむねほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	58	2.52	0.23	↗		流行性角結膜炎	7	0.88	0.60		↔	↔	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	111	4.83	1.41	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		↔	↔	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。
	感染性胃腸炎	106	4.61	3.75	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-		↔	↔	
	水痘	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12		↔	↔	
	手足口病	29	1.26	0.56	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↔	↔	
	伝染性紅斑	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↔	↔	
	突発性発しん	3	0.13	0.37								↔	↔	

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	110	70歳代・1人、80歳代・3人、90歳代・1人
4	E型肝炎	1	2	50歳代
4	つつが虫病	3	4	60歳代・市外、70歳代、80歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	60歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	10	20歳代・感染者・推定感染地域: 国外
5	梅毒	3	248	20歳代、30歳代、40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	9	70歳代、80歳代

